

探検!

むかしのくらし

大正～昭和、平成の時代に使われた衣食住の道具を紹介します。今のくらしとくらべてみよう!

2022年1月4日(火)～3月13日(日)

こたえは、
歴史博物館で
わかるぞ。

なんでも知ってる
トリップ博士



この
ハンドルは
なに?

このきんおつせご
たいむさん



ローラー式せんたくき

【開館時間】午前10時～午後4時 (入館は午後3時30分まで)

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日

【入館料】一般510円(410円) / 小中高生260円(210円)

※ () 内は20人以上の団体料金 ※ 幼児および市内の学校に通う小中学生は無料
※ 本入館料で常設展示もご覧いただけます

上越市立歴史博物館

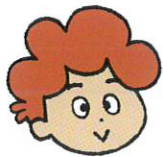
JOETSU CITY HISTORY MUSEUM



〒943-0835 新潟県上越市本城町7-7 (高田城址公園内)
TEL.025-524-3120 / FAX.025-522-7205
URL <https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/museum/>

探検! むかしの暮らし

子どもたちへ みなさんのおじいさん、おばあさんが子どものころ、お父さん、お母さんが子どものころ、そして、みなさんが生まれ育ったころのそれぞれの道具とくらしの様子^{ようす}の移り変わり^{うつかわり}を紹介^{しょうかい}します。道具の形や働き^{かたち ばたら}など、どんどん変わって^{たんけん}いく様子を探検^{たんけん}しよう。



かべかけ式電話



レコードプレーヤー



炭火アイロン



はがま



ダイヤル式電話



白黒テレビ



氷れいぞうこ



ちく音機



足踏みミシン



大人の方、保護者の方へ

本展では、羽釜、洗濯板、ローラー式洗濯機、氷冷蔵庫、足踏みミシン、炭火アイロンなど家事に関わる道具や、蓄音機、白黒テレビ、ダイヤル式電話など生活を豊かにした道具などを展示し、大正から昭和・平成時代の暮らしの移り変わりを振り返ります。

子どもたちに、それぞれの道具を初めて使ったときの驚きや使い方、どのように暮らしが変わっていったのかをお話いただけたらと願います。

新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください

- 体調が優れない場合、来場は控えてください。
- ソーシャルディスタンスを守っていただくようお願いします。
- 検温、手指の消毒にご協力ください。
- マスクの常時着用にご協力ください。また、大声での会話は控えてください。

※今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては内容の変更や開催を中止する場合があります。最新の情報については市ホームページをご覧ください。

校外学習での利用について

校外学習でご利用の場合は、事前にご連絡ください。学習内容に合わせたプログラムで対応します。「道具調べカード」として使えるガイドブックを用意しています。



交通案内

〈公共交通機関でお越しの場合〉

- 北陸新幹線上越妙高駅下車「上越妙高駅」から「中央病院行」バスで「西城町1丁目」降車、徒歩5分。
- えちごトキめき鉄道高田駅下車「高田駅前案内所」から「中央病院行」バスで「西城町1丁目」降車、徒歩5分。
- えちごトキめき鉄道直江津駅下車「直江津駅前」から「中央病院行」バスで「高田城址公園」降車、徒歩5分。

〈車でお越しの場合〉

- 北陸自動車道から上越IC～国道18号線 鴨島立体交差点右折、高田城址公園内まで約15分。
- 上信越自動車道から上越高田IC～高田城址公園内まで約15分。

